



Yonago East Weekly

創立 / 1968年4月24日 事務所 / 米子市西福原1-1-55 ホテルサンルート米子 (0859)32 5531
 例会日 / 水曜日12:30 ~ 13:30 例会場 / ホテルサンルート米子市西福原1-1-55 (0859)33 0911
 会長 / 新納哲雄 幹事 / 小谷維夫 会報 / 永島清孝 提供 / 東京印刷

出席報告

会員数75名 出席数 48名 欠席数 23名

出席免除会員 4名(荒川(雄)君、伊藤(敬)君、村上君、田中君)

出席率 67.76%

前回補正出席率 7/11 80.28% 7/4 81.69%

欠席者

足立君、深田君、秦野(愛)君、秦野(一)君、細田君、井上(雄)君、池淵君、河井君、木美君、木下君、北沢君、小西君、前田君、宮本君、宮岡君、長棟君、野津君、佐田山君、寺崎君、内田君、上森君、吉野君、

ビジター

メーキャップ

木下君、木美君、瀧井君(7/19米子中央)

今週のお祝い

夫人誕生祝: 2日石部裕一君、20日永見吉平君

スマイルBOX 14,000円 (累計271,000円)

夫人誕生祝: 石部君、永見君、理事退任: 藤尾君、ガバナー事務所閉鎖。大変お世話になりました: 細田君

会長挨拶

歯科の学会があり大阪に行きました。ホームレス生活者の口腔保健の現状と生活支援についてという演題でした。実態調査で大阪市のホームレス者数は全国で最も多く603名ですが、インターネットでは4069名と7倍近い数字となっていました。人数がつかみにくく、口の中の状態は悪いと指摘されていながら実態は明らかにされていませんでしたが、今回調査で同年齢に比べきわめて劣悪でした。また国民皆保険制度にもかかわらず半数は持っていませんでした。さらに野宿者は結核が多く、感染源となっているのではないかと感じました。最近では若者のホームレスが多くなり、脱却できないのが現実です。日本ではホームレスとは野宿生活者だけが対象とされ、漫画喫茶等を利用するネット難民は対象外として扱われています。一度競争社会から落ちこぼれ、はみ出すと容易に復活することが出来ないと感じました。最近歯科という小さな世界から大きな社会問題を提起する演題が増えてきたように感じました

幹事報告

1. ローターワールドが届いております。

2. 例会変更通知

米子中央RC 8月9日(木) 夜間例会
16日(木) 休会

ビジター受付は8/9のみ

倉吉RC 8月2日(木) 納涼例会
16日(木) 休会

ビジター受付は8/2のみ

松江南RC 8月6日(月) 早朝例会
13日(月) 8/8合同例会

ビジター受付あり

松江RC 8月8日(水) 4RC合同例会
15日(水) 休会

9月5日(水) G訪問夜間例会

ビジター受付あり



ROTARY SHARES 例会は分かち合いの心

プログラム

「新年度会長方針について」 副会長 杉原弘一郎 君

ロータリーを愛していますか？もちろんイエスでありますし、本当にロータリーって素晴らしいなと思います。例会に出て皆さんとお会いしますと、自分も活性化するし脳も活性化すると考えております。23年バッチを付けておりますが、今年は会報に22年皆勤と書いてあり一昨年から3年連続で22年と報告されてしまてショックであります。最初は不良会員でしたが、最近では皆勤年にこだわらうくらいロータリーを愛するようになって来ました。田淵さんと津山に会長幹事会に出席した際ホテルで一緒に飲み、「出席率が悪いな、これではだめだよ。」と厳しく云われました。云われることも必要だと思いますし、生き様を変えるうえでいい示唆をいただいたと思っております。

ロータリーのメインの事業は国際交流であると思っております。青少年を送り出して迎える、その国を理解していただく・友情が芽生える・行き来が始まるということが起こってまいります。国際ロータリークラブでは同年代の学生を全員交換できたら国際理解が深まり戦争が無くなるだろうと言われております。今ロータリークラブは毎年6000人から9000人を交換しており、世界最大の奉仕団体であります。このことは地元でもあまり知られておらずPRする必要があると感じております。

「ロータリーの友紹介」 雑誌リーダー 北沢薫君

幹事の役目とは事務的なものが大半を占めます。クラブが効果的に機能するよう援助すること。会員基盤の維持・増強・プロジェクトを実施する・財団の支援・指導者を育成などなど。事務局と意思の疎通を良くしておかなければと思っています。私としての今年の方針は一にも二にも新納会長の支援・補佐であり、会長方針を皆さんと少しでも汗を流しながら実現していくことです。なかでも会員同士の親睦・出席率の向上をどうやって実現するか。ロータリーの三大義務のうち例会出席はロータリー活動の根本といわれております。我がクラブでは出席率62～3%・補正出席率で80%くらい、私の入会時にはホームクラブの出席率が91～2%・補正で94～5%ときに100%が普通でした。ロータリー家族と例会を結び付けて考えると、例会の場はロータリー会員にとっての「帰ってくるべき我が家」ではないか。遠く離れた家族が週に一回お互いの様子を報告する、そして集まれたことが会員同士の大きな安心につながり各々の心持ちを一つにしていく、そのような場が例会ではないかと思っております。こうすると例会の意義がなんとなく見えてくるのではないかと思っております。

弔辞

故伊藤敬吾会員を偲んで

平成19年7月20日

作:村上一平

突然な、あまりにも突然な悲報に接して、ただ言葉を失うばかりでした。たった先程までそれも1時間前まで、その様な気配は微塵も感じさせるものはありませんでした。いつもの通りクラブ例会に出席され、にこやかに挨拶を交わし、いつものように親しくお話をしました。一体何が起こったのでしょうか。突如としてこの訃報に会おうとは。

かねてより行く道とは聞いていたものの、これも天の摂理か儂い人の運命の空しさなのでしょう。これからの行く先に思いが重なります。

貴君は昭和四十三年、米子東ロータリークラブが結成されるや、いち早く設立に参画され、以来四十年に亘りチャーターメンバーとして会員の親睦、地域社会への奉仕に寄与してこられました。その間、各委員長・理事を歴任され、常にホームクラブ出席率のトップに立つ範を示されました。昭和五十九年には第四十代会長として、時のRIテーマ「ロータリーを通して、世界理解と平和に」のもと古切手の収集に力をいたし、岩村先生へのネパールへの協力事業に参画して見事にその任を果たされました。就中、在任中、学生・会員二百余名が参加し大成功裡に終わった大山に於けるインター・アクト大会、あれからもう二十五年も経ちますのに、夏が近づいてきますとあの豪快なキャンプファイヤーの印象が懐かしく目に浮かんできます。貴君は総責任者、会長として、又医師として救護班にあたられ、折りしもお腹の不具合を訴えてきた女

学生に優しく親切に食事指導をされ、薄暗い山中で小さく頷いた女学生の安堵感でホッとしていた横顔を思い出します。

例会では同席の会員に、熱中症やインフルエンザの予防について日常生活の留意点など話され、大いに有意義でありましたが、時にはご自分の寒がりと同様の熱がりが衝突するなどと日常の一端を話して笑わせて頂きました。何といってもその温かな性格、ロータリーで言う「思いやりと寛容」の心で、また時に毅然とした意見を述べられ、さすが四十年のキャリアの重さを感じさせるチャーターメンバーと心から尊敬の念を抱かせるロータリアンでした。

近年、脊髄を痛められたとかで、幾分歩行が不自然かなと思っはいましたが、あるいは予めからの心づもりであったのでしょうか、平成十年にはご子息が同じロータリーに入会され、今や立派な若手のリーダー格として育ておられます。

私共も悲しみを乗り越えて、ご子息と共に貴君が四十年間愛し奉仕に尽くされた米子東ロータリークラブを奉仕の理念のもと、地域社会・世界の平和に役立つよう育てて行きたいと願っています。

今、四十周年を目前にして、今日まで尽された貴君に限りない感謝と深い敬愛の念を捧げます。今は、安らかにお休みください。

次回プログラム

7月25日 納涼夜間例会(大山ロイヤルホテル)

8月1日 「新年度運営方針について」

クラブ管理運営理事 江原 保君

「ロータリーの友紹介」 橋谷伊佐夫君